

神戸大学大学院 海事科学研究科

グローバル輸送科学講座

年次報告書 2023

- ① 構成員一覧
- ② 学部特別研究のタイトルと指導教員
- ③ 修士論文のタイトルと指導教員
- ④ 博士論文のタイトルと指導教員
- ⑤ 書籍
- ⑥ 学術論文（IF の値、WoS 論文、国際共著の情報を付記）
- ⑦ 研究発表
- ⑧ 国際会議や研究集会の主催・共催
- ⑨ 代表者としての外部資金獲得状況
- ⑩ 分担者としての外部資金獲得状況
- ⑪ 招聘した外国人研究者
- ⑫ 特記事項（受賞や国際機関・国・自治体等での重要な委員等）
- ⑬ 就職先一覧

① 構成員一覧

航海基盤科学

教授：高坂良史、齋藤勝彦、藤本昌志

准教授：岡田順子、藤川なつこ、ROOKS MATTHEW JOHN

海事人的要因科学

准教授：世良亘、廣野康平、淵真輝、本間正信

助教：小西宗

航海システム科学

教授：若林伸和、

准教授：牧野秀成

助教：猪野杏樹

輸送計画科学

教授：竹林幹雄、西村悦子

准教授：秋田直也、石黒一彦

輸送情報科学

教授：平山勝敏、堀口知也、長松隆

准教授：沖本天太、森亮太

輸送社会科学

准教授：酒井裕規、本田悠介、水谷淳、平田燕奈

②学部特別研究のタイトルと指導教員

航海基盤科学

- ・船舶運航管理に関する研究－自動運航船の出現による変容－(藤本(昌)・猪野)
- ・水路入口付近における横切り適用の妥当性の検討－英国最高裁判決と国内事例の比較より－(藤本(昌)・猪野)
- ・漁業従事者から見る、自動運航船と小型漁船の共存に関する研究(藤本(昌)・猪野)
- ・播磨灘及び大阪湾における自動運航船と漁船の衝突事故危険性の検討(藤本(昌)・猪野)
- ・放射性廃棄物管理に関する一考察(岡田)

- ・自動運航船の現状と法的課題(岡田)
- ・持続可能性から考える食糧の流通(岡田)
- ・SDGsからみた企業の責任 (岡田)
- ・海洋系大学生の職業選択に関する考察ー職業志向性のアンケート調査からー(藤川)
- ・神戸大学体育会部活動における組織風土とハラスメントに関する一考察(藤川)
- ・船舶職員の定着率向上のための労働環境に関する考察(藤川)
- ・企業における女性のダイバーシティ推進の現状とその効果に関する一考察(藤川)
- ・大学生のボランティア動向と意識向上に関する考察(藤川)
- ・Globalization and English education in Japan(ルックス)
- ・Analyzing the effects of COVID-19 on lifestyle and SNS use (ルックス)
- ・An Analysis of Job Hunting in Japan (ルックス)

海事人的要因科学

- ・錨鎖の摩擦力に関する実験(世良)
- ・乗船履歴による夜航海での危険感の差に関する研究(世良)
- ・ウィリアムソンターン後の進出距離について(世良)
- ・大阪湾における船舶の避泊に関する研究(世良)
- ・乗船実習における体操の効果と位置付けについての一考察(廣野)
- ・六分儀を用いない天測位置決定方法の開発(廣野)
- ・インターミッションにおける笑いに着目した言動観察とその考察～チームワークの定量的評価に向けて～(廣野)
- ・施設・設備の巡検及び緊急時対応における確実性の向上について～システム要件・構成の検討～(廣野)
- ・Vortex(渦輪)による船体防汚についてー渦輪の自動生成とフジツボへの影響ー(廣野)
- ・振動刺激が航海当直中の覚醒水準に与える影響について(渕・小西)
- ・小学校における海の出前授業に関する考察(渕・小西)
- ・実習授業におけるリーダーシップに関する一考察(渕・小西)
- ・香りによる船酔いの軽減について(渕・小西)
- ・操船における熟練者の見方(渕・小西)
- ・操船者の緊急対応までの行動の分析(渕・小西)
- ・握力と健康の関連性についての文献研究(本間)
- ・カッター競技のローイング動作に関する運動学的研究(本間)
- ・ラグビー競技者における足関節柔軟性と下肢受傷歴の関係(本間)

航海システム科学

- ・ニッケル水素二次電池を用いた電源装置についての研究(若林(伸))
- ・船舶運航管理に関する研究－自動運航船の出現による変容－(藤本(昌)・猪野)：再掲
- ・水路入口付近における横切り適用の妥当性の検討－英国最高裁判決と国内事例の比較より－(藤本(昌)・猪野)：再掲
- ・漁業従事者から見る、自動運航船と小型漁船の共存に関する研究(藤本(昌)・猪野)：再掲
- ・播磨灘及び大阪湾における自動運航船と漁船の衝突事故危険性の検討(藤本(昌)・猪野)：再掲

輸送計画科学

- ・ベズィミアニ火山の噴火を対象とした航空機退避行動分析(竹林)
- ・米中貿易摩擦に着目した半導体サプライチェーンの構造変化に関する一考察(竹林)
- ・時系列分析による奄美群島を対象とした旅客輸送の特性把握(竹林)
- ・花きの価格変動分析のための予測モデル構築に関する研究(西村)
- ・邦船三社コンテナ船事業統合に伴う港湾ターミナル利用の動向調査(西村)
- ・漁業界における人材不足に関する現状調査(西村)
- ・遺伝的アルゴリズムを用いたコンテナドレージのための配車計画(西村)
- ・鉄道コンテナ集配拠点の分布特性に関する研究－大阪府内に立地する貨物駅を対象として－(秋田)
- ・利用促進を目的とした鉄道コンテナ輸送ネットワークの強化方策の検討－西日本地域を対象として－(秋田)
- ・トラック運転者不足の解決要因の分析(秋田)
- ・トラック運転者の働き方を考慮した長距離運行の改善点の提案(秋田)
- ・加工食品物流における配送需要特性に関する研究－東北地方を対象として－(秋田)
- ・国境離島の分類と離島振興政策(石黒)
- ・世界のコンテナ港湾の運営効率性評価(石黒)
- ・主要バルク貨物取扱港湾の運営効率性評価(石黒)
- ・東・東南アジア輸出貨物の国際海空一貫輸送実現可能性(石黒)
- ・働き方改革を考慮した内航船員需給推計と船員不足による経済影響(石黒)

輸送情報科学

- ・交換経済における利得分配に関する研究(平山)
- ・2024年度研究室配属における最適な領域別定員数に関する考察(平山)
- ・従業員の教育を考慮した0-1整数計画法に基づく勤務表作成問題(平山)
- ・避難所の物資受け入れ体制を考慮したドローン及びトラックの併用による救援物資配送計画(平山)
- ・深層強化学習を用いた分散衝突回避アルゴリズムにおけるエージェントの行動空間サイズに関する考察(平山)

- ・コンテナ定期船ネットワークにおけるサービス選択モデルの実装(平山)
- ・Chat-GPTの論理的推論能力の評価(堀口)
- ・論証構造の段階的習得を指向した論証能力育成支援システムの開発と評価(堀口)
- ・論証能力の習得を指向した学習支援システムにおけるルール明示機能の開発と評価(堀口)
- ・行動空間でのナビゲーションにおいて操作視点が認知的特性に与える影響に関する研究(堀口)
- ・VR型及び従来型操船シミュレータにおける状況認識と学習効果の違いについての研究(堀口)
- ・顔動画像の脈波に基づくファンデーション塗布状況の可視化手法(長松)
- ・Emotion Classification from Gaze Data with Deep Learning(長松)
- ・休暇とフライト希望を考慮したクルースケジューリング(沖本)
- ・0-1 整数計画法による救命救急センターの医療スタッフ・スケジューリング(沖本)
- ・ロバスト性を考慮した警備員配置問題(沖本)
- ・ワークライフバランスを考慮した救命救急センターの医療スタッフスケジューリング(沖本)
- ・0-1 整数計画法に基づくロバスト性を考慮したクルー・ペアリング問題(沖本)

輸送社会科学

- ・仮想市場法を用いた再配達有料化の検討(酒井)
- ・再配達率と消費者の問題意識・行動要因の関係に関する考察(酒井)
- ・コード決済の利用要因分析(酒井)
- ・水道事業における民間活用の効果に関する分析(酒井)
- ・上下分離方式導入による地域鉄道のパフォーマンスの変化に関する分析(酒井)
- ・海洋プラスチックごみ問題における日本のシングルユース・プラスチック規制の現状と課題(本田)
- ・自動運航船における「遠隔操船者」の法的位置づけ(本田)
- ・ロジスティクス回帰分析を用いたアメリカンフットボールのパス成功要因の推定(水谷)
- ・長距離輸送におけるトラック輸送とフェリー・RORO船を利用した輸送の物流労働生産性比較(水谷)
- ・トラック輸送の中長距離フェリーへのモーダルシフトの検討(水谷)
- ・ファストファッション小売業における需要予測の説明変数の分析(平田)
- ・物流倉庫におけるピッキングの最適化(平田)
- ・CtoC取引を効率化するAIモデル開発における使用アルゴリズムの検討(平田)
- ・DEMATAL法による総合商社物流戦略に関する研究(平田)

③修士論文のタイトルと指導教員

航海基盤科学

- ・振動外力による段ボール箱の劣化について(齋藤)

- ・自律運航船普及に際する避航回避動作の数値基準作成に関する研究（藤本（昌））
- ・海難審判における「無難に航過する」に関する一考察 -適用傾向と海外の判例との比較-（藤本（昌））
- ・日中航海士の技能教育と教育意識に関する一考察（藤本（昌））
- ・国家管轄権外区域の海洋生物多様性（BBNJ）への「人類の共同財産」原則の適用（岡田）
- ・同型化圧力の CSR 活動に与える影響に関する考察—コーヒー関連企業の事例研究を通して—（藤川）

航海システム科学

- ・自動運航船時代に対応するVTSの機能高度化に関する提案（若林）

輸送計画科学

- ・日本を拠点とした国際海空一貫輸送の実現可能性分析（石黒）
- ・離島港湾における静穏度改善の便益評価（石黒）

輸送情報科学

- ・VRを利用した弓道修練システムの開発と学習効果～教師の手本を観察する視点の影響について～（堀口）
- ・VR空間における融合身体を用いた非利き手書字訓練の効果（堀口）
- ・キャラクターの外見に基づく特徴的な性格の推定手法に関する提案（長松）
- ・視線計測装置を用いた認知症簡易検査手法の開発（長松）
- ・イベントベースカメラを用いた視線計測装置の高速化の検討（長松）

輸送社会科学

- ・鉄道会社が主催するウォーキングイベントの価値評価—トラベルコスト法を用いた社会的余剰分析—（水谷）

④博士論文のタイトルと指導教員

航海基盤科学

- ・ A Study of Safe Ship Navigation Using Functional Resonance Analysis Method for Assessing System Resilience Potency

（システムレジリエンス力の評価のための機能共鳴分析手法に基づく船舶の安全航行に関する研究）（藤本（昌））

⑤ 書籍・⑥ 学術論文（IF の値、WoS 論文、国際共著の情報を付記）

航海基盤科学

（藤本（昌））

- ・ I Gde Manik Sukanegara Adhita, Masaki Fuchi, Tsukasa Konishi, Shoji Fujimoto,

Modelling Ship Officer Performance Variability Using Functional Resonance Analysis Method and Dynamic Bayesian Network, TransNav, the International Journal on Marine Navigation and Safety of Sea Transportation, 2023

- SAKUMA Shun, FUJIMOTO Shoji, KONISHI Tsukasa, ROOKS Matthew, Estimating the Heading of Overtaken Vessels by Side Passage Lights, Transactions of Navigation, 2023
- ADHITA I Gde Manik Sukanegara, FUCHI Masaki, KONISHI Tsukasa, FUJIMOTO Shoji, Learning Officer Performance Variability from Dangerous Ship Encounter Situations in Ship Simulator, NAVIGATION, 2023

(藤川)

- 吳 文琪, 藤川なつこ, コロナ危機を乗り越えるための航空会社の経営戦略—ダイナミック・ケイパビリティの視点を中心に—, 日本経営診断学会論集, 2023.4
- 藤川なつこ, 組織化における信頼の機能と逆機能—リスクの生産と分配の視点から—, 経営学史学会第31回全国大会予稿集, 2023.5

(ルックス)

- SAKUMA Shun, FUJIMOTO Shoji, KONISHI Tsukasa, ROOKS Matthew, Estimating the Heading of Overtaken Vessels by Side Passage Lights, Transactions of Navigation, 2023
- Rooks, Matthew, Investigating Actual Use of SMCPs in VHF Communications: Assessment and Implications for MET, International Maritime Science Conference 2023 Proceedings, 2023.5
- Matthew Rooks, An Analysis of SMCP Usage in VHF Communications by Japanese Seafarers, NASE MORE 2023 International Conference of Maritime Science & Technology Book of Abstracts, 2023.9

海事人的要因科学

(澁)

- I Gde Manik Sukanegara Adhita, Masaki Fuchi, Tsukasa Konishi, Shoji Fujimoto, Modelling Ship Officer Performance Variability Using Functional Resonance Analysis Method and Dynamic Bayesian Network, TransNav, the International Journal on Marine Navigation and Safety of Sea Transportation, 2023
- Renda Cui, Zhengjiang Liu, Xinjian Wang, Masaki Fuchi, Tsukasa Konishi, Ying Zhou, Juncheng Tao, Zaili Yang, Shiqi Fan, Zhiwei Zhao, The Evaluation of Seafarer Fatigue as a Performance-Shaping Factor in the Maritime HRA Method, ASCE-ASME Journal of Risk and Uncertainty in Engineering Systems, Part A: Civil Engineering, 2023.12 (WoS)
- I Gde Manik Sukanegara Adhita, Masaki FUCHI, Tsukasa KONISHI, Shoji FUJIMOTO, Ship Navigation from a Safety-II Perspective: A Case Study of Training-ship Operation in Coastal Area, Reliability Engineering & System Safety, 109140, 2023 (WoS)

(小西)

- Renda Cui, Zhengjiang Liu, Xinjian Wang, Masaki Fuchi, Tsukasa Konishi, Ying Zhou, Juncheng Tao, Zaili Yang, Shiqi Fan, Zhiwei Zhao, The Evaluation of Seafarer Fatigue as a Performance-Shaping Factor in the Maritime HRA Method, ASCE-ASME Journal of Risk and Uncertainty in Engineering Systems, Part A: Civil Engineering, 2023.12
- I Gde Manik Sukanegara Adhita, Masaki Fuchi, Tsukasa Konishi, Shoji Fujimoto, Modelling Ship Officer Performance Variability Using Functional Resonance Analysis Method and

Dynamic Bayesian Network, TransNav, the International Journal on Marine Navigation and Safety of Sea Transportation, 2023

- SAKUMA Shun, FUJIMOTO Shoji, KONISHI Tsukasa, ROOKS Matthew, Estimating the Heading of Overtaken Vessels by Side Passage Lights, Transactions of Navigation, 2023
- ADHITA I Gde Manik Sukanegara, FUCHI Masaki, KONISHI Tsukasa, FUJIMOTO Shoji, Learning Officer Performance Variability from Dangerous Ship Encounter Situations in Ship Simulator, NAVIGATION, 2023
- KIM Kwangjin, FUCHI Masaki, KONISHI Tsukasa, Collision Analyze and Map Plotting of Korea - Japan navigating vessels, NAVIGATION, 2023

航海システム科学

(若林 (伸))

- 若林 伸和, 新訂 電波計器 —衛星測位とレーダー, AISを中心に—, 成山堂書店 (2023. 5)
- Nikola Lopac, Irena Jurdana, Nobukazu Wakabayashi, Hongze Liu, A Data Compression Approach to Reducing Demands on Maritime Communication Systems, 16th Baška GNSS Conference: Technologies, Techniques and Applications Across PNT and The 3rd Workshop on Smart, Blue and Green Maritime TechnologiesAt: Baška, Croatia, 2023.5

(牧野)

- Hitoshi Yoshioka, Hirotada Hashimoto, Hidenari Makino, Decision-making algorithm for ship collision avoidance with collision risk map, Ocean Engineering, 2023.10

輸送計画科学

(竹林)

- Ryohei Yamamoto, Mikio Takebayashi, Alliance and network in maritime shipping industry, Maritime Policy & Management, 2023.6

(西村)

- Yufeng GUO, Takuma MATSUDA, Etsuko NISHIMURA, Multi-criteria location analysis for emergency distribution center in preflood of Kanto district, 土木計画学研究・講演集, 2023.6
- Etsuko Nishimura, Naoto Mizuta, Vehicle dispatch problem with chassis pool use for inland marine container transport, Proceedings of 2023 IEEE International Conference on Industrial Engineering and Engineering Management, 2023.12

輸送情報科学

(堀口)

- Aikawa, N., Maeda, S., Mogi, T., Koike, K., Tomoto, T., Imai, I., Horiguchi, T., and Hirashima, T.: Classroom implementation of an auxiliary problem presentation system for mechanics adapted to learners' errors, Research and Practice in Technology Enhanced Learning, 2024.01 (IF=3.1(2023), WoS)
- Aikawa, N., Maeda, S., Mogi, T., Koike, K., Tomoto, T., Imai, I., Horiguchi, T., and Hirashima, T.: Analysis of Classroom Test Results for an Error-Based Problem Presentation System for Mechanics, HCI International 2023. Lecture Notes in Computer Science 14016, 2023.07

- ・古池謙人, 藤島優希, 東本崇仁, 堀口知也, 平嶋宗: プログラミングの機能的階層構造の学習環境における習熟度を考慮した適応的フィードバック機能の評価, 教育システム情報学会誌, 2023.07

(長松)

- ・Mamoru Hiroe, Michiya Yamamoto, Takashi Nagamatsu, Implicit User Calibration for Gaze-tracking Systems Using Saliency Maps Filtered by Eye Movements, 2023 Symposium on Eye Tracking Research and Applications, 2023.5
- ・Junzo Kamahara, Takashi Nagamatsu, Kyoko Ito, Mamoru Hiroe, Haruki Sao, Saizo Aoyagi, Junko Nagata, Kenji Takada, Distinguishing Orthodontic Experts from Laypersons through Gaze Analysis, IEEE Access, 2023.5
- ・前川 侑司, 川口 豊, 廣江 葵, 内村 真紀, 中山 実, 鄭 羽佳, 園田 悠馬, 古和 久朋, 長松 隆, 視線データの分析による認知症スクリーニングに関する研究, 電子情報通信学会技術研究報告(MEとバイオサイバネティックス), 2023.10

(沖本)

- ・Tenda Okimoto, Katsutoshi Hirayama, A Framework for Patient Symptoms based Nurse Scheduling Problem, In proceedings of International Symposium on Scheduling 2023 (ISS 2023), 2023.6
- ・沖本 天太, 平山 勝敏, サービス付き提携構造形成に基づくタクシー相乗り問題, 人工知能学会全国大会 (JSAI 2023), 2023.6
- ・Tenda Okimoto, Katsutoshi Hirayama, Effect of influential variable based variable-ordering heuristic in small-world networks, In proceedings of 13th International Conference on Smart Computing and Artificial Intelligence (IIAI-AAI-SCAI 2023), 2023.7
- ・Tenda Okimoto, Katsutoshi Hirayama, U12 Basketball League Scheduling Problem Based on Minimizing the Total Traveling Distance and the Number of Breaks, Transactions of the Japanese Society for Artificial Intelligence, 2023.11
- ・沖本 天太, 平山 勝敏, 移動距離最小化とブレイク数最小化に基づくU12バスケットボールリーグ戦作成問題, 人工知能学会論文誌, 2023.11

(森)

- ・Yoichi Nakamura, Ryota Mori, A Study on Optimal Runway Assignment Using Simulated Annealing, Lecture Notes in Electrical Engineering, 2023
- ・Ryota Mori, Prediction of Off-Block Time Distribution for Departure Metering, Journal of Air Transportation, 2024.1
- ・Mori, R., "Neural Network Classification-Regression Method Applied to Approach Speed Control Strategy," Journal of Aerospace Information Systems, AIAA, Vol. 21, No. 4, pp. 362-366, 2024. (WoS)
- ・Miyazawa, Y., Toratani, D., Nakamura, Y., Mori, R., "Performance Analysis of Runway Allocation for Arrival Flow Using a Queuing Model," Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences, The Japan Society for Aeronautical and Space Sciences, Vol. 67, No. 2, pp. 67-77, 2024. (WoS)

- Saez, R., Toratani, D., Mori, R., Prats, X., "Generation of RNP Approach Flight Procedures with an RRT* Path-Planning Algorithm," 2023 IEEE/AIAA 42nd Digital Avionics Systems Conference, 2023. (WoS、国際共著論文)

輸送社会科学 (平田)

- Enna Hirata, Takuma Matsuda, Examining logistics developments in post-pandemic Japan through sentiment analysis of Twitter data, Asian Transport Studies, 2023. 4
- Enna Hirata, Takahiro Yamashita, Seiichi Ozawa, Researcher Network Visualization Using Matrix Researcher2vec, Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics, 2023. 7
- 長縄尚駿, 平田燕奈, フィジカルインターネットにおける物流拠点の最適立地と配送ルート最適化, 土木計画学研究・講演集, 2023. 11
- 上野大樹, 平田燕奈, 物流倉庫におけるピッキングの最適化, 土木計画学研究・講演集, 2023. 11
- Enna Hirata, Annette Skovsted Hansen, Identifying Key Issues in Integration of Autonomous Ships in Container Ports: A Machine-Learning-Based Systematic Literature Review, Logistics, 2024. 2

⑦ 研究発表 航海基盤科学 (高坂)

- 高坂良史, 幾何学的発展方程式に対する進行波解について, 「応用解析」研究会定例セミナー, 2023. 4
- 高坂良史, Willmore流に対する閾値型近似アルゴリズムについて, 2023年度秋季総合分科会 函数方程式論分科会, 2023. 9
- 高坂良史, Canham-Helfrich汎関数の勾配流に対する閾値型近似, 第73回南大阪応用数学セミナー, 2023. 11
- Yoshihito Kohsaka, A threshold-type algorithm to the gradient flow of the Canham-Helfrich functional, Regularity and Singularity for Geometric PDE and related topics, 2024. 1

(齋藤)

- 川口和晃, 齋藤勝彦, 破損部位の減衰特性が損傷境界曲線に与える影響, 第32回日本包装学会年次大会, 2023. 7
- 藤本大輝, 齋藤勝彦, マルチボディダイナミクスを用いたトラック荷台振動シミュレーション, 第32回日本包装学会年次大会, 2023. 7
- 貞本純杏, 齋藤勝彦, 振動外力による段ボール箱圧潰量と蓄積疲労の関係, 第32回日本包装学会年次大会, 2023. 7
- 貞本純杏, 齋藤勝彦, 振動外力による段ボール箱の圧潰について, 第61回全日本包装技術研究大会, 2023. 12
- 上原雅史, 千田詠介, 齋藤勝彦, 新旧JIS包装貨物・振動試験による包装内容物損傷比較, 第61回全日本包装技術研究大会, 2023. 12

- ・千田詠介, 齋藤勝彦, 輸送包装振動試験の新しい手法と可能性について, 第61回全日本包装技術研究大会, 2023.12

(藤川)

- ・藤川なつこ, 組織化における信頼の機能と逆機能—リスクの生産と分配の視点から—, 経営学史学会第31回全国大会, 2023.5

(ルックス)

- ・Matthew Rooks, Investigating Actual Use of SMCPs in VHF Communications: Assessment and Implications for MET, International Maritime Science Conference 2023, 2023.5
- ・Rooks, Matthew, Implementing new vocabulary learning strategies, 英語4技能育成のための特別講座講, 2023.7
- ・Matthew Rooks, Developing Presentation and Speech Skills for STEM Students, 姫路四季彩高等の英語教育研究会, 2023.10

輸送計画科学

(竹林)

- ・M. Takebayashi, K. Ishiguro, M. Onishi: Sea-and-air cargo transport and its impact on environment, 26th ATRS World Conference (ID=199).
- ・竹林幹雄, 航空貨物輸送における多様化に関する一考察, 第68回土木計画学研究発表会, 2023.11.

(西村)

- ・Yufeng GUO, Takuma MATSUDA, Etsuko NISHIMURA, Multi-criteria location analysis for emergency distribution center in preflood of Kanto district, 第67回土木計画学研究発表会, 2023.6
- ・Koichi Shintani, Ken'ichiro Nagaiwa, Etsuko Nishimura, Empty container repositioning using foldable containers inland transportation: Trade-off between bundled tiers and waiting time, The 13th International Conference on Logistics and Transport 2023, 2023.9
- ・Etsuko Nishimura, Naoto Mizuta, Vehicle dispatch problem with chassis pool use for inland marine container transport, 2023 IEEE International Conference on Industrial Engineering and Engineering Management, 2023.12

(石黒)

- ・Kazuhiko Ishiguro, Hiroyuki Ishihara, Mikio Takebayashi, Sea and Air Intermodal Freight Transport from East Asia to North America: From the viewpoint of cost-efficiency, The 26th ATRS World Conference, 2023.7
- ・Hiroyuki Ishihara, Kazuhiko Ishiguro, Mikio Takebayashi, Feasibility Analysis of International Sea-Air Transport on the Export Cargo from East Asia to North America, EASTS Conference 2023, 2023.9
- ・Etsuki Kakimoto, Kazuhiko Ishiguro, Mikio Takebayashi, Evaluation of Tranquility Improvement on Liner Ferry Service -Case Study on the Amami Islands in Japan-, EASTS Conference 2023, 2023.9

- ・石原宏幸・石黒一彦・竹林幹雄：日本を拠点としたSEA&AIR 輸送の実現可能性，第68回土木計画学研究発表会・講演集，2023.11
- ・垣本悦来・石黒一彦・竹林幹雄：離島港湾の静穏度改善の便益評価-奄美大島における事例研究-，第68回土木計画学研究発表会・講演集，2023.11

輸送情報科学

(平山)

- ・平山勝敏，分散船舶衝突回避アルゴリズム，2023年度人工知能学会全国大会（第37回）(JSAI-2023)，OS-9「AIと制約プログラミング」招待講演，2023.6
- ・Katsutoshi Hirayama, Donggyun Kim, Kazuma Gohara, Tenda Okimoto, Koki Miyake, Tomohiro Shiota, Distributed Ship Collision Avoidance Algorithms, 9th International Conference on Advanced Intelligent Maritime Safety and Technology (Ai-MAST 2023), Keynote Speech, 2023.11

(堀口)

- ・西村和真，平野学志，堀口知也：VR型及び従来型操船シミュレータにおける状況認識および意思決定に関する学習効果の違いについて，第48回教育システム情報学会全国大会論文集，2023.08
- ・小橋明生，堀口知也，平嶋宗：論理的推論の習得を指向した学習支援システムに関する研究，第98回人工知能学会先進的学習科学と工学研究会，人工知能学会研究会資料，2023.07

(森)

- ・森亮太「推力低減上昇方式のシミュレータ検証」日本航空宇宙学会第54期年会講演会，2023/4.

輸送社会科学

(本田)

- ・Yusuke Honda, The Impact of the BBNJ Agreement on Marine Scientific Research related to MGR, 2023 KIOST-JAILOS Workshop on ISA and BBNJ, 2023.8
- ・本田 悠介，海面上昇に対する気候変動適応策の国際法上の位置づけ，国際法学会 2023年度（第126年次）研究大会，2023.9

(平田)

- ・Hirata, Enna, Li, Kevin, Watanabe, Daisuke, Research Topics and Methods in Maritime Decarbonization: A Natural Language Processing Approach, International Association of Maritime Economists (2023), 2023.9
- ・上野大樹，平田燕奈，物流倉庫におけるピッキングの最適化，2023土木計画研究会秋大会，2023.11
- ・長縄尚駿，平田燕奈，フィジカルインターネットにおける物流拠点の最適立地と配送ルート最適化，2023土木計画研究会秋大会，2023.11

⑧ 国際会議や研究集会の主催・共催

航海基盤科学

- ・応用数学勉強会2023、2024年1月、主催（高坂）

- ・第13回室蘭非線形解析研究会、2024年1月、主催（高坂）
- ・深江における非線形偏微分方程式研究集会、2024年3月、主催（高坂）

輸送社会科学

- ・海洋法セミナー：BBNJ協定とISAの活動の法的関係、2024年2月、主催（本田）

⑨ 代表者としての外部資金獲得状況

航海基盤科学

- ・表面拡散方程式によって時間発展する曲線・曲面の形状と特異性の解析(科研費:基盤研究(C))(高坂)
- ・齋藤勝彦奨学寄附金(奨学寄附金:アイデックス(株))(齋藤)
- ・齋藤勝彦奨学寄附金(奨学寄附金:花王(株))(齋藤)
- ・齋藤勝彦奨学寄附金(奨学寄附金:神栄テクノロジー(株))(齋藤)
- ・齋藤勝彦奨学寄附金(奨学寄附金:神鋼物流(株))(齋藤)
- ・低稼働内航船用に適した船底防汚塗料の実船検証(共同研究:中国塗料(株))(藤本(昌))
- ・サプライチェーンのレジリエンスを高める共創メカニズムの解明(科研費:基盤研究(C))(藤川)
- ・「お惣菜の新たな価値創造」を目指す産学連携プロジェクト(共同研究:(有)ウチノ)(藤川)

海事人的要因科学

- ・船舶運航に関わるドローン技術の応用(清水タンク検査・機関室巡検)(共同研究:(株)國森)(廣野)
- ・Safety-IIの視点を加えた船舶衝突回避判断の特徴と学習プログラムの検討(科研費:基盤研究(C))(渕)
- ・ECLA 寄附金(奨学寄附金:ECL エージェンシー(株))(渕)
- ・株式会社サンオーシャン奨学寄附金(渕)
- ・新規防汚塗料の開発(共同研究:日本ペイントマリン(株))(渕)
- ・高耐食型被覆平行線ケーブルの開発(共同研究:神鋼鋼線工業(株))(渕)
- ・火災発生状況のシミュレーションに対する操船の立場からの指導(学術指導:エア・ウォーター防災社)(渕)

輸送計画科学

- ・大規模火山噴火による航空輸送への影響把握のための予測システムの開発(科研費:挑戦的研究(萌芽))(竹林)

- ・海運航空研究奨学金(奨学寄附金:一般社団法人みなと総合研究財団)(竹林)
- ・令和5年度港湾空港総合技術センター研究開発助成(公募型助成金:一般財団法人港湾空港総合技術センター)(竹林)
- ・港湾ターミナルでのゲート制御と内陸側荷役の高度化に関する研究(科研費:基盤研究(C))(西村)
- ・鉄道コンテナの貨物需要から貨物車交通の需要を推計するシステムの開発(科研費:基盤研究(C))(秋田)
- ・脱炭素化と働き方改革を考慮した内航海運船員需給推計と船員不足による経済影響推計(科研費:基盤研究(C))(石黒)
- ・石黒一彦教員奨学寄附金(奨学寄附金:日本海運経済学会)(石黒)

輸送情報科学

- ・全体最適と個人最適を両立させる分散協調問題解決研究(科研費:基盤研究(B))(平山)
- ・類推に基づく知識の一般化を指向した問題演習システムの開発(科研費:基盤研究(B))(堀口)
- ・幾何学的な制約、画面情報、瞳孔径の変化を用いた校正不要な視線計測技術(科研費:基盤研究(B))(長松)
- ・視線の文法化による脳機能・脳内病理の推定手法(科研費:挑戦的研究(開拓))(長松)
- ・2023年度コスメトロジー研究助成(公募型助成金:公益財団法人コーセーコスメトロジー研究財団)(長松)
- ・不安定進入を対象とした機械学習による要因分析手法の開発(科研費:基盤研究(C))(森)
- ・有人機リスクモデルに関する調査支援業務(受託事業:国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所)(森)
- ・洋上空域における衝突危険度推定に係る支援作業(学術指導:一般財団法人航空交通管制協会)(森)
- ・「進入方式の定量的逸脱リスク検証に係る調査」の支援業務(学術指導:一般財団法人航空交通管制協会)(森)

輸送社会科学

- ・航空政策研究会研究2023年度プロジェクト支援研究助成金(公募型助成金:航空政策研究会)(酒井)
- ・フィジカルインターネットにおける物流拠点の設計(科研費:基盤研究(C))(平田)
- ・学術相談:(株)カネカ(平田)

⑩ 分担者としての外部資金獲得状況

航海基盤科学

- ・標準的平均曲率流とその時間発展問題への応用（科研費：基盤研究(A) 代表：東京工業大学 利根川 吉廣)(高坂)
- ・曲率流に対する閾値型近似アルゴリズムとそれを用いた広義解の性質の研究(科研費：基盤研究(C) 代表：神戸大学 石井 克幸)(高坂)
- ・非営利組織における不正行為と自己規律に基づいたガバナンス(科研費：基盤研究(C) 代表：金城学院大学 小室 達章)(藤川)

海事人的要因科学

- ・付着期幼生の複眼が視覚する光で防汚場所から誘導しフジツボ付着を防ぐ新規方法の開発(科研費：基盤研究(C) 代表：神戸大学 三村 治夫)(廣野)
- ・Safety-IIの視点を加えた船舶衝突回避判断の特徴と学習プログラムの検討(科研費：基盤研究(C) 代表：神戸大学 淵 真輝)(廣野、小西)

輸送情報科学

- ・算数文章題における情報不備の完備化としての作問演習システムの開発と評価(科研費：基盤研究(C) 代表：広島大学 平嶋 宗)(堀口)
- ・偏光を用いた視線計測技術の確立と多様なディスプレイ環境への応用(科研費：基盤研究(B)代表：東海大学 竹村 憲太郎)(長松)
- ・世界展開可能な革新的Vision Therapyシステムの開発：日本語対応から言語非依存へ（科研費：国際共同研究加速基金(海外連携研究) 代表：関西学院大学 山本 倫也)(長松)
- ・全体最適と個人最適を両立させる分散協調問題解決（科研費：基盤研究(B) 代表：神戸大学 平山 勝敏)（沖本）

輸送社会科学

- ・地方における国際旅客交通政策の新たな展開と経済的影響の実証・理論研究(科研費：基盤研究(C) 代表：東京海洋大学 遠藤 伸明)(酒井)
- ・国際組織を通じた海洋法秩序の展開（科研費：基盤研究(A) 代表：東北大学 植木 俊哉)（本田）
- ・スマート港湾における船舶・陸上輸送の運用効率化と環境負荷低減に関する研究（科研費：基盤研究(B) 代表：東京海洋大学 渡部 大輔)（平田）

⑪ 招聘した外国人研究者

なし

⑫ 特記事項（受賞や国際機関・国・自治体等での重要な委員等）

航海基盤科学

委員

- ・日本包装学会会長（齋藤）
- ・一般財団法人 日本船舶技術研究協会 安全評価等実施委員会（藤本（昌））
- ・一般財団法人 みとびら 代表理事（藤本（昌））
- ・日本海洋政策学会 広報委員会委員（藤本（昌））
- ・公益社団法人 神戸海難防止研究会 常任調査研究委員（藤本（昌））
- ・一般財団法人 神戸大学海事科学振興財団 評議員（藤本（昌））
- ・公益社団法人 日本航海学会 理事， 代議員（藤本（昌））
- ・大阪府 水上交通の安全と振興検討委員会委員（藤本（昌））
- ・公益社団法人 日本航海学会 英文論文審査委員（ルックス）
- ・内閣官房拉致問題対策本部事務局 北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクール2023の英語エッセイ部門最終審査委員（ルックス）

海事人的要因科学

委員

- ・公益社団法人 神戸海難防止研究会 常任調査研究委員， 神戸港整備事業に伴う船舶航行安全対策検討調査委員会委員， 大阪湾における自動運行船の航行安全上の課題に関する調査研究委員会委員， 堺泉北港大津航路に係る航行安全対策検討調査委員会委員（廣野）
- ・公益社団法人 日本航海学会 理事， 代議員（廣野）
- ・公益社団法人 瀬戸内海海上安全協会 委員（廣野）
- ・国土交通省 神戸運輸監理部 近畿地方交通審議会臨時委員（淵）
- ・公益社団法人 瀬戸内海海上安全協会 委員（淵）
- ・一般財団法人 大阪府マリーナ協会 評議員（淵）
- ・一般財団法人 海技振興センター 自動運航船運航者の能力検討に関する専門委員会委員長， HTW調査研究に関する専門委員会委員（淵）
- ・公益社団法人 神戸海難防止研究会 常任調査研究委員， 大阪湾における小型旅客船及び遊漁船並びに瀬渡船の運航実態と海難防止に関する調査研究委員会委員， 大阪港海上工事に伴う航行安全対策検討調査委員会委員， 和歌山下津港大型クルーズ客船航行安全検討調査委員会 委員（淵）
- ・兵庫労働局 兵庫地方労働審議会 臨時委員（淵）
- ・公益社団法人 日本航海学会 代議員（淵）
- ・公益社団法人 全国大学体育連合 近畿支部 運営委員（本間）

航海システム科学

委員

- ・国土交通省 交通政策審議会 臨時委員， 社会資本整備審議会 臨時委員（若林（伸））
- ・公益社団法人 日本航海学会航法システム研究会会長（若林（伸））
- ・公益社団法人 神戸海難防止研究会常任調査研究委員（若林（伸））
- ・海上保安庁 海上保安庁政策アドバイザー（若林（伸））
- ・海上保安庁 海洋情報部情報システム評価委員（若林（伸））
- ・滋賀県立びわ湖フローティングスクールびわ湖フローティングスクール運営懇話会委員（若林（伸））
- ・非営利活動法人 産業防災研究所 理事（牧野）

- ・公益社団法人 日本航海学会 情報委員会 幹事 (牧野)

輸送計画科学

委員

- ・大阪市 大阪市港湾審議会委員 (竹林)
- ・国土交通省 大阪航空局 大阪航空局入札監視委員会委員, 大阪航空局管内構内営業予定者選定審査会委員 (竹林)
- ・国土交通省 交通政策審議会 臨時委員 (竹林)
- ・国土交通省港湾局 「新しい国際コンテナ戦略港湾政策の進み方検討委員会」委員 (竹林)
- ・大阪湾広域臨環境整備センター 事業外部評価委員会委員長 (竹林)
- ・大阪府 大阪府地方港湾審議会委員 (竹林)
- ・兵庫県土木部港湾課 尼崎西宮芦屋港港湾計画検討会委員 (竹林)
- ・神戸港港湾審議会 委員 (竹林)
- ・和歌山県 地方港湾審議会委員 (竹林)
- ・京都府 舞鶴港港湾審議会委員 (竹林)
- ・福井県土木部港湾空港課 敦賀港鞍山北多目的クレーン故障調査委員会委員長 (竹林)
- ・内閣府地方創生推進事務局 総合特別区域評価・調査検討会委員 (竹林)
- ・国土交通省 小笠原諸島振興開発審議会委員 (竹林)
- ・近畿地方整備局 近畿圏広域地方計画有識者会議委員 (竹林)
- ・独立行政法人 都市再生機構西日本支社 入札監視委員会委員 (竹林)
- ・国立大学法人 京都大学防災研究所 防災研究所火山防災連携研究ユニット教員 (竹林)
- ・一般財団法人 関西空港調査会 理事 (竹林)
- ・日本海運経済学会 評価委員会 (竹林)
- ・公益社団法人 日本航海学会 監事, 代議員 (西村)
- ・公益社団法人 日本航海学会 和文論文審査委員 (西村)
- ・国土交通省港湾局 港湾機能高度化施設整備事業(コンテナ荷役システム高度化支援設備)有識者委員会委員 (西村)
- ・国土交通省港湾局 外来トレーラー等の自働化実証事業有識者委員会委員 (西村)
- ・国土交通省港湾局 港湾技術開発制度有識者委員会委員 (西村)
- ・兵庫労働局 兵庫地方労働審議会 臨時委員(港湾労働部会), 公益代表委員 (西村)
- ・福岡市役所 福岡市総合計画審議会委員 (西村)
- ・北九州市 北九州市地方港湾審議会委員 (西村)
- ・一般社団法人 港湾荷役システム協会 遠隔操作ガントリークレーン導入に必要となる安全確保の方策に係る検討委員会委員 (西村)
- ・独立行政法人 日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員、卓越研究員候補者選考委員会書面審査員、国際事業委員会書面審査員・書面評価員 (西村)
- ・国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST), 創発的研究支援事業 事前評価 外部専門家 (西村)
- ・公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 能力開発委員会物流技術管理士専門委員会委員 (秋田)
- ・兵庫県環境部 兵庫県環境審議会委員 (石黒)

- ・兵庫県 兵庫県港湾審議会 委員 (石黒)
- ・兵庫県土木部港湾課 尼崎西宮芦屋港港湾計画検討会委員 (石黒)
- ・大阪労働局 大阪地方労働審議会 (石黒)
- ・国土交通省 神戸運輸監理部 近畿地方交通審議会臨時委員 (石黒)
- ・国土交通省港湾局 次世代高規格ユニットロードターミナル検討会委員 (石黒)
- ・神戸市 神戸港港湾審議会委員 (石黒)
- ・神戸市港湾局 指定管理者選定評価委員会委員 (石黒)
- ・芦屋市 都市計画審議会委員 (石黒)
- ・公益社団法人 神戸海難防止研究会 委員 (石黒)

輸送情報科学

委員

- ・一般財団法人 神戸大学海事科学振興財団 評議員 (平山)
- ・ヒューマンインタフェース学会評議員, 電子広報委員会幹事 (長松)
- ・The 2024 ACM Symposium on Eye Tracking Research & Applications, Organizing Committee (長松)
- ・Intl. Conference on Smart Computing and Artificial Intelligence (SCAI) Steering Committee (沖本)
- ・Intl. Conference on Smart Computing and Artificial Intelligence (SCAI-Winter) Steering Committee (沖本)
- ・日本航空宇宙学会 ICAS ETF 2023実行委員, ICAS連絡委員会委員 (森)
- ・国土交通省航空局CARATS (将来の航空交通システムに関する推進協議会)航法WG委員 (森)
- ・IWAC2024(International Workshop on ATM/CNS) プログラム委員 (森)
- ・ICAS2024(International Council of Aeronautical Sciences) プログラム委員 (森)

輸送社会科学

委員

- ・伊丹市 都市計画審議会委員 (酒井)
- ・関西鉄道協会 都市交通研究所 「都市交通の需要構造と運賃・料金制度」委員会主査 (水谷)
- ・独立行政法人 日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員、卓越研究員候補者選考委員会書面審査員、国際事業委員会書面審査員・書面評価員 (平田)
- ・Maritime Policy & Management 編集委員 (平田)
- ・Port Effectiveness and Public Private Cooperation for Competitiveness (PEPP II) 国際諮問委員会委員 (平田)
- ・日本海運経済学会 国際交流委員, 研究委員 (平田)

⑬ 就職先一覧

船舶職員

<乗船実習科>

日本郵船株式会社 (3)、株式会社商船三井 (4)、川崎汽船株式会社 (1)、ENEOSオーシャン株式会社 (1)、出光タンカー株式会社 (1)、共栄タンカー株式会社 (1)、飯野海運株

株式会社(1)、株式会社グローバルオーシャンディベロップメント (1)、ケイラインローローバルクシップマネージメント株式会社 (1)

建設・土木

アチハ株式会社 (1 (1))

エネルギー・材料

旭化成 (1)、東レ株式会社 (1)、関西電力株式会社 (1)

一般電気・機械・製造

古野電気株式会社 (1)、シュナイダーエレクトリックホールディングス株式会社 (1)、パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社 (1)、ダイキン工業株式会社 (2)、日本製鉄株式会社 (1)、京セラ株式会社 (1 (1))、株式会社クボタ (1 (1))

造船・輸送機械

三菱重工業株式会社 (1)、トヨタ自動車株式会社 (1)、ヤマハ発動機株式会社 (1 (1))

商社・卸・小売

伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社 (1)、株式会社MonotaRO (1)、兼松株式会社 (2)

運輸・物流

昭和日タン株式会社 (1)、イオングローバルS C M株式会社 (1)、レインボーマリタイム株式会社 (1)、スカイマーク株式会社 (1)、株式会社ニチレイロジグループ (1)、三井倉庫ホールディングス株式会社 (2)、日本郵政グループ (1)、川崎汽船株式会社 (1)、株式会社上組 (1)、郵船ロジスティクス株式会社 (2)、株式会社住友倉庫 (1)、三菱倉庫株式会社 (1)、ロジスティード株式会社 (1)、株式会社辰巳商会 (1)

<乗船実習科>

ECLエージェンシー株式会社 (1)、レインボーマリタイム株式会社 (1)、Kumiai Navigation (Pte) Ltd (1)

情報・通信

ビーパートナーズ株式会社 (1)、東日本電信電話株式会社 (1)、パナソニックインフォメーションシステムズ株式会社 (1)、T I S株式会社 (1)、株式会社いえらぶGROUP (1)、富士通株式会社 (1)、JFEシステムズ株式会社 (1)、株式会社グラッドキューブ (1 (1))、富士通Japan株式会社 (1 (1))、N T T西日本 (西日本電信電話株式会社) (1 (1))、株式会社プライム・ブレインズ (1 (1))、B I P R O G Y株式会社 (1 (1))

保険・金融

三井住友海上火災保険株式会社 (1)、三井住友カード株式会社 (1)、オリックス株式会社 (1)、野村證券株式会社 (1)

官庁・公的機関等

防衛省 海上自衛隊 呉地方隊 (1)、海上保安庁 (1)、国土交通省 航空局・自動車局・海事局 (1)、滋賀県庁 (1)、法務省 (1)、大阪国税局 (1)、大阪府 (1)、東京都庁

(1)、広島商船高等専門学校(1(1))、スラバヤ工科大学(1(1))
<乗船実習科>

独立行政法人海技教育機構(1)、国立研究開発法人海洋研発機構(1)

その他

株式会社ウィル(1)、株式会社タイミー(1)、株式会社芝田化工設計(1)、仁&カンパニー株式会社(1)、EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社(1)、アクセント
チュア株式会社(1)、NTT都市開発株式会社(1)、デロイト トーマツ アクト株式会社
(1)、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社(1)、MOLマリン&エ
ンジニアリング株式会社(1(1))

(注：(※)内の数字*は、内数で大学院生の人数を示す。)